

## 木津高山線の再編について

○木津高山線は、鹿背山～山田川駅間を奈良交通株が運行する路線バスであるが、利用者の減少により運行が維持できなくなった。第58回協議会にて、再編案について事務局から説明。第59回協議会にて再編の方向性を決定することとなっている。

## 【再編案】

案①：木津高山線を廃止する

・当該区間は、現在の利用者数が少なく、今後の利用者数の増加も見込めないため廃止とする。

案②：木-2の運行便数を増やして再編する。

・朝2便（6時、7時）、夜4便（17時、18時、19時、20時）を増便し、木津高山線運行区間を補填する。（市負担額：約3,965千円）

案③：木津高山線の運行を他事業者に依頼する。

・中型バス車両を準備する必要があるため、運行費総額が高額となるため不採用

案④：木-2の朝夜の運行間隔を延ばし、便数を増やさずに運行時間を延ばす

・朝2便（6時、7時）、夜2便（17時、18時）を増便し、朝2便（7時、8時）、夜2便（16時、17時）の便を減便し総便数を同じとする。

・市負担額が2,000千円増加する。（概算）

案⑤：案④では利用の多い7時48分発が無くなる案であるため、より利用者数が少ない、昼間帯の1往復を減便とする。

・案④を基本として、朝2便の代わりに昼2便（11時、12時）を減便し総便数を同じとする。

案⑥：木-2の運行本数と運行間隔は変えずに、朝2便、夜2便を増便する。

・鹿背山区からの案。市負担額（3,200千円）増加する（概算）

⇒市負担額が増加する案については、運行期間を区切つての実証運行とし、第二次木津川市地域公共交通網形成計画に定める、運行継続条件である、「1便あたり1.25人以上」を下回るようであれば、運行は継続しない。